

番号	事業名	担当係	事業費 (千円)	主な経費(千円)	事業内容	事業主体 (関連団体)	現在の進捗状況と今後の見込	KPI(重要業績評価指標)	備考
1	公共交通事業	総務係	99	委員報酬:99	時代に対応した公共交通網の検討	長和町	巡回バス委託業者のJRバス関東株式会社と今後の検討方法等について、意見交換を行う予定(日程未定) その後、中長期的な公共交通網のあり方について検討する協議会を立ち上げる予定	町内巡回バスの利用者(年間) H26:46,499人→H31:50,000人	
2	国際交流事業	総務係	418	実行委員会報酬:218、事務用備品:200	イギリスブレックランド地方との国際交流事業の推進	長和町	イギリスセットフォード町との姉妹都市提携に向けて、現在は双方の実行委員会の交流活動を活発に進めていく段階で、28年度は、「長和青少年黒耀石大使」の派遣と「Brecks-Nagawa国際交流実行委員会来町」事業を行う。	英国セットフォード町との交流人数(年間) H31:20人	
3	空き家活用移住促進事業	まちづくり政策係	3,240	空き家情報システム整備委託:1,080、空き屋活用団体補助:2,160	空き家情報システムの整備と空き屋活用団体への補助	長和町、空き家活用団体	昨年度整備した地図情報システムのデータを活用しながら、町HPとの連携や空き家バンクの充実を業者委託により進めていく予定。(時期未定) また、団体補助については現在1団体から要望があるが、他の団体の動向を見ながら今年度の交付を決定していく予定。	地図情報システムを活用した空き家マッピング件数 450件 空き家の整備による新たな価値の創出のための整備件数 1件 空き家を利用した特産品等展示販売施設の利用者数 3,000人/年 空き家コーディネーター組織設立数 1団体	
4	子どもたちの交通安全対策事業	生活環境係	2,695	交通安全施設設置工事:2,695	通学路の交通安全施設工事(グリーンベルト)	長和町	今年度事業は夏頃発注予定。和田地区(街道線)、長久保地区(町裏線)2箇所 平成30年度までに、要望路線の工事完了を目指す。	交通事故発生件数(年間) H26:19件→H31:14件	
5	アートをテーマとした構想事業	まち・ひと・しごと創生係	9,474	構想事業委託料:9,474	アートによるまちづくり事業の検討	長和町	平成28年6月に女子美術大学の関係者が来町。今後は、大学とも連携しながら事業内容や推進体制を検討していく。	(数値目標) 長和町の観光客数(年間) H26:337,600人→H31:360,000人 (適切なKPIは事業の状況により検討)	
6	FMとうみ放送委託事業	情報広報係	789	放送委託料:789	FMとうみによる情報発信	長和町、FMとうみ	6月1日委託契約を締結。午前7時50分から5分間長和町枠の放送開始。そのほか緊急放送にも対応し、時代に対応した情報配信を開始した。	「まるごと長和町」ホームページ閲覧回数(年間) H26:25,000件→H31:50,000件	
7	乳幼児家庭応援事業	子育て支援係	300	消耗品:300	乳幼児家庭におむつ用ゴミ袋を無料配布	長和町	4月より実施済み。4月からの出生・転入者は、窓口で申請、4月1日現在2歳未満のお子さんがある対象世帯には、町より申請書を送付済みである。既に申請の受理、ごみ袋の支給の手続きが進められている。子育て家庭には好評を得ているので今後も継続したい。	(数値目標) 出生数(年間) H26:39人→H31:維持 合計特殊出生率 H31時点:1.69 (適切なKPIは事業の状況により検討)	

番号	事業名	担当係	事業費 (千円)	主な経費(千円)	事業内容	事業主体 (関連団体)	現在の進捗状況と今後の見込	KPI(重要業績評価指標)	備考
8	子育て支援事業	子育て支援係	287	印刷製本費:287	子育て支援リーフレット・ガイドブック作成	長和町	8月を目途に就学前児童世帯及び母子手帳交付者へ配付できるよう制作中。	(数値目標) 出生数(年間) H26:39人→H31:維持 合計特殊出生率 H31時点:1.69 (適切なKPIは事業の状況により検討)	
9	ファミリーサポート事業	子育て支援係	303	事業委託料:303	子育ての支援を求める方とお手伝いをしたい方をつなぐ	長和町、長和町社会福祉協議会	提供会員の確保について、産前産後サポーター養成講座修了者、退職された保育士等も視野に入れ検討中。	ファミリーサポート事業利用件数(年間) H31:30人	
10	産前産後交通費助成事業	健康づくり係	68	助成金:68	産前産後受診に伴う交通費助成	長和町	平成28年4月1日「産前産後受診等交通費補助金交付要綱」設置。広報5月号にて住民周知。今年度は20回分を予算計上している。 対象:胎児、または出生時より児に疾患等あり県内で片道30km以上の遠隔地の医療機関への受診が必要な者。 助成額:自家用車で1kmに20円を乗じて得た額。及び有料道路料金代。上限1人当たり年間10回まで。	(数値目標) 出生数(年間) H26:39人→H31:維持 合計特殊出生率 H31時点:1.69 (適切なKPIは事業の状況により検討)	
11	農大連携特産品開発事業	農政係	2,500	特産品開発事業補助金:2,500	東京農業大学と連携した特産品開発の推進	長和町、東京農業大学	エゴマ、キヌア等の機能性疑似穀物の試験栽培及び特産品化並びに新規特産品開発の継続実施 ・エゴマ、キヌア ・長門のトマト ・池田南蛮味噌 ・花豆どらやき、花豆納豆 ・コウジイラズ味噌 ・長和漬 ・和紙カルタ	大学等と連携した特産品の開発 H31:7品目(累計) 【先行型:27年度まで】 レシピ集発行1,000部 容器デザインの検討:10回 宣伝媒体の検討:2回	
12	ふるさと創生コミュニティ事業	特産品開発係	507	委員賃金:99、印刷製本費:360等	地域の自然体験・体験学習施設の連携体制の構築	長和町	体験学習実施団体及び体験施設事業者による組織づくりを実施中。体験施設等の情報共有化及びネットワーク化を図り、今年度体験の町パンフレットを作成する。	「体験の町ネットワーク(仮称)」への参加団体数 H31時点:5団体	
13	キャンペーン隊設置事業	特産品開発係	2,618	販売促進事業消耗品:730、印刷製本費:681、謝礼金:400等	年間を通じた積極的・継続的な情報発信体制「キャンペーン隊」づくり	長和町	地域おこし協力隊を中心にキャンペーン及び物品販売に参加している。 7月には、キャンペーン隊として組織化し、引き続き積極的に物品販売等に参加していく。	キャンペーン隊活動回数(年間) H31時点:5回	
14	フォレストアドベンチャー事業	特産品開発係	45	委員賃金:40等	夏期観光客誘致等のための森林アドベンチャーパークの検討	長和町	今後アドベンチャーパーク整備に向けての検討委員会を立ち上げていく。	(数値目標) 長和町の観光客数(年間) H26:337,600人→H31:360,000人 (適切なKPIは事業の状況により検討)	

番号	事業名	担当係	事業費 (千円)	主な経費(千円)	事業内容	事業主体 (関連団体)	現在の進捗状況と今後の見込	KPI(重要業績評価指標)	備考
15	特産品開発チーム設置事業	特産品開発係	1,951	作業員賃金:396、原材料費:200、作業委託:300、備品購入費:713 他	「特産品開発チーム」による特産品の開発研究・製造	長和町	地域おこし協力隊を中心として「ひまわり油」「エゴマ油」「リンゴジャム」等の新商品開発及び加工製造を実施している。現在、町民有志の方も含めて組織化を図っており、今後「特産品開発チーム」として研究、加工製造、販売を行っていく。	長和町奨励品数 H26:52品目→H31:62品目 6次産業化事業計画認定件数 H26:2団体→H31時点:4団体	
16	ワイン産業プロジェクト展開事業	特産品開発係	1,501	ぶどう苗木代:1,491 他	ワイン用ぶどう生産・ブランド化の推進	長和町、黒耀ワインぶどうプロジェクト委員会	4月に長和町黒耀ワインぶどうプロジェクト委員会を設立した。プロジェクトに係わる人材の育成及び事業化に向けた調査研究を行っていく。	農林漁業への新規就農者数 H26:3人→H31:5人	
17	ワイン産業プロジェクト展開事業 ○地方創生加速化交付金活用分 (「恋するNAGANO WINE振興事業」)	特産品開発係	17,075	黒耀ワインぶどうプロジェクト委員会補助:16,200 他	ワイン用ぶどう生産・ブランド化の推進(試験圃場整備資材費、人材育成経費等)	長和町、黒耀ワインぶどうプロジェクト委員会、信州ワインバレー構想推進協議会	(有)JA信州うえだファームを通じてワインぶどう栽培に係わる研修生を2名採用した。新規就農に向けて研修を実施していくとともに圃場整備に向けて検討を行っていく。また、千曲川ワインバレー特区連絡協議会と連携を図りワイン振興に向けた事業を実施していく。	農林漁業への新規就農者数 H26:3人→H31:5人	
18	特産品サテライトブース事業	特産品開発係	8,138	情報館改修工事:3,716、展示用什器購入:2,376 他	長和町奨励品及びアンテナショップの設置(情報館のあと利用)	長和町	6月8日にサテライトブース設置に向けた検討会議を開催し、今年度中にはサテライトブースを整備する。サテライトブースでは、町奨励品を中心とした特産品の展示販売を行い併せてネットショップも開設する。また、観光協会による観光情報の提供を実施し、総合的な情報発信基地としていく。	長和町奨励品数 H26:52品目→H31:62品目 (数値目標) 長和町の観光客数(年間) H26:337,600人→H31:360,000人 (適切なKPIは事業の状況により検討)	
19	真田丸の里信州小県ご当地蕎麦イベント事業 ○地方創生加速化交付金活用分 (「都会と田舎をつなぐ真田丸の里信州小県ご当地蕎麦イベント」)	特産品開発係	1,500	負担金:1,500	首都圏でのキックオフイベント、ご当地そばツアー、移住お試しツアー等	信州小県ご当地そば定住移住推進協議会、青木村、長和町	青木村のタチアカネと長和町のダツタンそばを活用した地域の知名度を向上させる「キックオフイベント」を7月17日に埼玉県川越市にて開催する。そばの試食販売、特産品販売、観光PR、移住定住相談会という内容で実施する予定。その後、移住お試しツアーを新そばの時期に開催の予定。	【青木村・長和町共通】 移住お試しツアー参加者数 H28:10名	
20	街並整備事業	生活環境係	321	マルメロ苗木代:52、管理委託料:201 他	マルメロの補植による街並み整備	長和町	春先に40本補植済み(シルバー人材センター)。時期を見ながら、消毒等実施してもらう予定。	(数値目標) 長和町の観光客数(年間) H26:337,600人→H31:360,000人 (適切なKPIは事業の状況により検討)	
21	新規雇用企業支援事業	商工観光係	300	新規雇用企業支援事業補助金:300	新規雇用に関する助成。規定日数以上勤務の場合、企業に補助	長和町、長和町商工会	長和町商工会事務局と実施要領(支給要件、事業効果等詳細)の協議を開始している。規定日数や要件について課題が多いことから、他の支援事業との関係性も含め詳細調査を行い、早期の実施を目指す。	支援対象企業等数(年間) H31:3企業	

番号	事業名	担当係	事業費 (千円)	主な経費(千円)	事業内容	事業主体 (関連団体)	現在の進捗状況と今後の見込	KPI(重要業績評価指標)	備考
22	商工業発展促進事業	商工観光係	900	販路拡大支援補助:400、 企業情報発信事業補助: 100 他	販路拡大支援、専門家派遣支 援、町内企業案内・雇用情報 発信補助等	長和町、長和町商 工会	出店PR等販路拡大支援事業については、既に要 望団体があり予算範囲内で行える限り要望に応 えていく。専門家派遣支援及び町内企業・雇用情 報発信補助については、長和町商工会事務局と 協議を開始したところ。専門家派遣支援制度につ いては、9月を目処に施行を目指す。町内企業・ 雇用情報については商工会との協議が整い次第 補助事業として年度内に実施する。	商工業発展促進事業制度利用件 数(年間) H26:7件→H31:10件 雇用についての情報発信数(年 間) H31:5件	
23	ビーナスライン広域連携事業	商工観光係	1	負担金:1	ビーナスライン沿線市町によ る広域連携事業。科目計上	長和町、信州ビー ナスライン連携協 議会	下記のとおり	【関係市町村共通】 沿線観光地延べ利用者数 H26:8,818千人→H28:9,000千 人 沿線観光消費額 H26:28,832百万円→H28: 29,410百万円 研修・セミナー参加者数 30人 お勧めドライブルート造成 1件	
24	ビーナスライン広域連携事業 ○地方創生加速化交付金活用分 (「DMO設立に向けたビーナスライ ンを基軸とした広域観光事業」)	商工観光係	664	信州ビーナスライン連携 協議会負担金:664	ビーナスライン沿線市町によ る広域連携事業。 広域観光ビジョンの策定、一 体的な情報発信によるブラン ド再構築、観光客受け入れ環 境の整備、ビーナスラインド ライブ促進事業 等	長和町、信州ビー ナスライン連携協 議会	27年度においては、連携協議会としての誘客宣 伝事業(ポスター、パンフレット、ロゴの作成)、受 入環境整備事業として(株)リクルートライフスタ イル じゃらんリサーチセンターを通じて観光素材と 観光動向の趣向を調査(GAP調査)し研修会を実 施。28年度は、ビッグデータ分析による観光動態 調査、広域観光ビジョンの構築を進める。また、 誘客宣伝事業としてホームページ、SNSを開発、 ビーナスラインの映像作成、マーケティング事業 としてJR.東日本レンタリースと共同で利用者モ ニタリング調査を実施、おすすめドライブルート造 成に向け研究を行う。また、新規会員として長野県 環境部エネルギー課等を加えたことからエコ観 光地づくりモデル事業との連携も図る。昨年度に 引き続き、広域研修会、観光施設視察体験会を 開催する。	【関係市町村共通】 沿線観光地延べ利用者数 H26:8,818千人→H28:9,000千 人 沿線観光消費額 H26:28,832百万円→H28: 29,410百万円 研修・セミナー参加者数 30人 お勧めドライブルート造成 1件	
25	高校通学費補助事業	学校教育係	11,556	高校通学費補助金: 11,556	高校通学費補助の継続	長和町	1年間分を前期・後期の2回に分けて申請書を提 出してもらう。前期分は9月、後期分は翌年3月 に申請書を取りまとめてそれぞれの翌月に支給 する。 支給件数見込み 150件	(数値目標) 出生数(年間) H26:39人→H31:維持 合計特殊出生率 H31時点:1.69 (適切なKPIは事業の状況により 検討)	
	【合計】		67,250						